

てを置き換えることはできないかもしれませんが、可能な限り1食でも2食でも、まずは始めてみるというところを検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 11番、小島徳重君。

○議員（11番 小島 徳重君） 今、ここにパネルを出していますが、これは農水省関係ですけれども、有機農業の推進ということで、みどりの食糧システム戦略推進総合対策という事業で、4年度で総額30億程度の全国的な予算が多分ついています。

その中身を細かく見ますと、有機農家を育てようとか、それから後継者を育てようとかいろんな施策も含まれているし、そしてできた産品を流通させるためのいわゆる機関を育てようとか、いろんなことがあります。

それで対馬の場合、なかなか農業だけでは生活が難しいけれども、学校給食というのは安定した食材供給の場になりますよね。それでぜひ、今、30%台、40%未満という食材が野菜類、果物、野菜類が多いですから、もう少し力を入れていただきたいと。

これは水産加工品についても、初めは全然対馬の物を使わないでやっていたんですけど、それが今は結構伸びてきているのは、これはやっぱり行政の努力があって、加工業者の方々の努力があって、今、伸びてきているわけですから、農業についても必ず可能性はあると思います。

そういうことでお願いをして終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、小島徳重君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開は2時10分からといたします。

午後1時55分休憩

午後2時10分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 初めに、今日の対馬地方は、核ごみ受入れに対する推進派と反対派の見解が交差し、本市には不穏な空気が漂っています。私自身、核ごみ受入れについて難色を抱いている立場から、今の平穏な生活継続のため、1日も早い終息に向けて取り組んでまいり所存でございます。

さて、本日は観光全般について、2点目、路面整備について、3点目、安全な通学路の確保について質問いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

先日、関西方面から御夫妻でレンタカーにて市内観光の途中、佐須窓口センター内設置の観光

案内板前で遭遇いたしました。タブレット内の資料1を御覧ください。

資料1の2と比較して、経年劣化した案内板の前で、何とか目的地に向けて到着できるよう説明をいたしました。御承知のとおり、団体観光客は目的地までガイドさんによる案内での対応ができますが、個人観光客も目的地まで円滑に到着できるよう、一部の国道沿いのみならず、市内各所の観光地に写真掲示による案内表示が必要と思いますが、そのお考えについてお尋ねをいたします。

次に、女性お二人で観光を終え、次の観光目的地をカーナビで入力されている光景を目の当たりにいたしました。このような作業をしなくても、目的の観光地に容易に到着できるよう、携帯端末での検索可能な観光アプリシステムの整備はできないでしょうか、お尋ねをいたします。

5月の連休後、大型クルーズ船の寄港を含め、多いときには1日3台の大型バスの往来により、対馬地方は活気に満ちあふれているように感じています。本市にとって、観光産業は経済効果を高めるとともに交流人口増につながり、極めて重要な産業であると考えています。

今の時代はSNSやユーチューブなどの投稿により、世界各地へ情報発信が行われています。まだまだ発掘されていない自然食品を活用した食文化や神社、仏閣など、隠れた観光資源の掘り起こしに観光コンサルを導入するなど、観光産業の見直しのお考えはないでしょうか、お尋ねをいたします。

資料2をお願いいたします。

資料2は、佐須窓口センター駐車場の入り口付近の2か所のマンホール周りが陥没しています。佐須窓口センターでは、毎月2回の特別診療が行われ、受診者数は1回当たり10名前後との報告を受けています。また各種証明の発行手続、地域の商店への家庭系ごみ袋の販売、毎年2月には前年分の所得申告や地域の方々が利用されています。

このような利用頻度の高い施設内の改修が必要な実態についての報告は、どのように進められているのでしょうか。報告体制のプロセスについて、お尋ねをいたします。

次は、教育委員会関連でございます。

資料3は金田小学校の児童が利用している鬱蒼とした通学路の状況です。距離にして約100メートル、その先には矢立山古墳の入り口に通じています。既に現場は確認されていると思われませんが、樹木の先端部の剪定などによる環境整備はできないでしょうか、お尋ねをいたします。

最後の質問です。農事組合法人檜椎小原付近の県道44号線の一部狭隘な通学路の改善について、お尋ねした経緯がございます。前回は、道路拡張工事についての質問でしたが、視点を変えての再質問です。

資料4ですが、小茂田方面に進みますと歩道が整備されていますが、矢印で示した白線の内側

は約30センチです。拡張工事が困難のようでございますので、注意喚起ポールの設置と徐行などの路面標示をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

以上、4項目6点について、御回答よろしくお願いたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 伊原議員の質問にお答えいたします。

初めに、観光全般に関する質問についてでございますが、新型コロナウイルス感染症が5月8日に5類へと移行され、飲食、観光業を中心に経済の活性化が期待されております。

本市においても、壱岐市・対馬市周遊ツアー造成支援による対馬での国内観光客、延べ泊数が5月実績で1,266人と、市内でも国内観光客の姿が目立つようになりました。また国際航路においては、2月の航路再開から5月までの利用累計実績が1万2,394人となり、徐々に島内の経済が活性化しつつあります。観光のスタイルも多様化し、団体から個人、移動もレンタカーを活用しながら、自由に観光地を訪れる観光が多くなっております。

観光案内板の統一化についてでございますが、平成24年に策定しました観光案内板、誘導板整備計画により、案内板、誘導板、説明板など、各種サインのデザインを統一化しているところでございます。

この計画には、写真による案内板の整備が盛り込まれておりませんが、利用者がどのような観光地であるか分かりやすく、運転中でも瞬時に発見しやすい効果的な手法として、過去に整備を行ってまいりました。今後も整備計画によるデザインを基本に、主要な観光地に写真による案内板の整備を進めてまいります。

次に、観光アプリシステムについてでございますが、平成24年よりスマートフォンアプリケーションを作成し、対馬の観光情報を提供してまいりました。利用に当たっては、自身のスマートフォンにアプリをダウンロードいたしますが、アプリのデータ容量が大きいことから、現在、提供を中止しております。

目的地へのナビゲーションについては、利用者が利用しやすいグーグル、ヤフー、トリップアドバイザー並びに対馬観光物産協会のホームページなど、なるべく個人のスマートフォンのデータ容量に負担をかけないウェブ上からのマップ検索を推奨し、情報提供を行ってまいります。

また、今年度は既存ウェブメディアの情報整備として、ウィキペディアのほか旅行サイト等の情報整備を実施することとしております。

次に、観光資源の見直しについてでございますが、令和4年3月に策定しました対馬市観光振興推進計画に基づき、あえてお金と時間をかけてまで行きたくなる対馬の売りとなる観光コンテンツの創出を行っているところでございます。

今年度は特定有人国境離島地域社会維持推進交付金の滞在型観光を活用し、食と体験を組み合

わせた観光コンテンツ、例えば塩づくりの体験、粒子の違いによる塩比べと味比べ体験、対馬の塩と対馬の食をコラボするなど、専門家による知見、コンサルによる運営、地元事業者をはじめ、第1次産業者との連携を組み合わせたコンテンツの創出を行うこととしております。

今後もコアなファンづくりによる対馬の食や歴史などの強みを生かした対馬観光の魅力を尖らせることで、持続可能な観光地づくりへと進めてまいる所存であります。

次に、2点目の佐須窓口センター駐車場の路面整備についての御質問でございますが、初めに陥没部分についての報告があっているのかとの御質問でございます。

窓口センターでの業務に従事しております市民課に確認したところ、利用者等市民からのお話はあっていないようです。また、スクールバスの駐車場としても利用しておりますので、教育委員会にも確認いたしました。運転手からの報告などもあっておりません。

佐須窓口センターの施設の維持管理につきましては、4月の組織及び事務分担の変更によりまして、現在は総務部財産管理運用課で管理することとなっております。

佐須窓口センターを含めた集会施設等の点検については、毎年、年1回の定期点検を実施することとしております。しかしながら、佐須窓口センターにおいては、今年度の点検をまだ実施していない状況であります。

また、現地を写真などによりまして確認をいたしました。議員のおっしゃられるとおり、高いところで10センチメートル強の段差がついておりました。今後、事故等の発生が懸念されますので、早急に対応するよう指示をしております。

私のほうからは、以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 伊原議員の御質問にお答えします。

初めに安全な通学路の確保についてでございますが、対馬市通学路交通安全プログラムにおける対馬市通学路安全対策推進協議会で実施しております通学路の合同点検につきましては、各小学校からの依頼を受け、必要に応じて実施しているところです。

金田小学校通学路の一部区間については、議員が御指摘のとおり、通学路周辺の樹木が生い茂り、通学路上に覆いかぶさっており、枯葉が積もっている状態です。県道脇の通学路であることから、管理者である対馬振興局建設部道路課へ通学路の環境改善に向けて、対応をしていただくようお願いをしております。

次に、県道44号の一部狭隘な通学路の改善についてお答えします。

お尋ねの金田小校区の危険箇所につきましては、平成30年6月に1回目の合同点検を実施し、県道の幅員拡充と歩道の延長について検討することとなりましたが、用地所有者が共有名義等のため、用地の確認に時間を要すると伺っております。現地再調査の上、議員が御指摘の方法も含

めて、安全な通学路の確保に向けた対応策について、県や地区、警察署等の関係機関と協議を進めてまいります。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） どうもありがとうございました。

それでは、順を追って進めたいと思います。

まず、資料の1でございますけれども、同じような観光案内板が3か所ございます。私の地区に。そして残念ながらこの1のほう、窓口センターに設置してあるところはこの案内板はこういった状況です。この下のほうは日掛の入り口のところです。2番目はですね。もう一つ匠の敷地にもう1か所ございまして3か所ですね。そして、佐須窓口センターのこの案内板はこういった実態です。この案内板の前で、先ほど御紹介いたしました関西方面からの御夫妻でお見えの観光客の方が、いろいろお二方でお話をされながら、たまたま私がそこに遭遇して、「どちらのほうに行かれますか」と言いましたら、宗助国公の御胴塚と御首塚、こちらに伺いたいと。そして御承知のとおり、先ほど小島議員さんからもお話がございましたが、1274年、今から749年前、非業の死を遂げられた宗助国公、このお墓、これは歴史についてやっぱり少しいろいろ対馬の歴史で勉強されてあるのかなと思いつつ、そういったことで私も場所は的確にお伝えしたつもりです。翌日は、ヤマネコセンターに行きますということでお別れいたしました。こういった状況で、市内観光をいろいろお話をされてありますけれども、まだまだこういった状況で、少しとつか改善の余地が多くあるかと思っておりますので、この件につきましては、少し観光各地の入り口回り付近も踏まえて、改善をしていただけないかというふうに思いますが、そのお考えはいかがでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 私もこの資料の看板を見て、かなりちょっと私自身も難しいなという思いを持っております。また再度、現地を調査いたしまして、古いものそして分かりづらいものについては、更新、また、つくり替えをするようにしていきたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 先般、5月でしたか、私の所属する委員会、総務文教常任委員会で佐須奈の小中学校、コミュニティスクールの関係で勉強させていただきました。帰りの車中から佐護の入り口に大きなヤマネコセンター入り口ですよという看板がございました。これ佐須奈中学生のデザインで作成されたと、いい看板だなと。市内には国道沿いには、巖原のほうから向かいますと、緒方の姫神山砲台跡、それから、あそうベイパーク、それから豊玉の和多都美神社と、それから先ほど申しました上県の野生生物保護センター、この4か所は確認しております。

写真つきはですね。その他どこかこういった写真つきの観光案内板は設置はされているでしょうか。観光部長さん。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、村井英哉君。

○観光交流商工部長（村井 英哉君） 伊原議員が、今、おっしゃいましたように、私のほうでも、今、その4か所ほどしかちょっと浮かんでできませんけども、申し訳ございません。（発言する者あり）そうですね。申し訳ございません。県道と国道のちょうど境目になりますか、もみじ街道とか、こちらのほうもございますね。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 市長さんのほうから、先ほど観光客の数のお話がありました。

大型バスはもうほぼ毎日、今、市内に往来してあります。これも非常に嬉しいことではないかなと思っております。また国際航路の大型客船、これも、今、2月以降ですか。2隻以上ということで、非常にいいことだと思います。

それで写真つきの観光案内板、これもぜひ各所回っていただいて、そして作成をしていただきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それから観光アプリのシステム整備について、平成24年にスマートフォン、それからアプリケーションで作成したけれどもやっぱり容量が大きすぎて、なかなかそのアプリに、機能を果たしていないということでございますが、これは個人観光客への高品質なおもてなし、これやっぱり大事なことだろうと思います。

ビッグデータはNTTさんもそうでしょうし、それからゼンリンさんの地図ですね。この辺りのコラボによって、再度、観光アプリの開発、このお考えはないでしょうか、お尋ねします。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、村井英哉君。

○観光交流商工部長（村井 英哉君） 答えいたします。

先ほど、市長のほうから答弁あったように、前回24年度にやったものがどうしても携帯の中へダウンロードするのに5分以上かかったり、容量が大きかったりということで、一旦ダウンロードできても、そこから次の展開までがなかなか重くて進まないというようなことで、今のところ停止をさせておるという状況でございまして、この先は手法をちょっと変えまして、インターネット上での使用というよりは、ダウンロード版というよりは、現状のそういったウェブ上から情報を引っ張ってくるというような形に改めてやり直して、例えば、今、ある旅行サイトなどにも今年度、予算を900万ほどをつけていただいていますけど、そういったところで整備しながら既存のウェブサイトからもらえる情報という、やりやすい方法でというふうな考え方で、今、進めております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 理解できました。ありがとうございます。

国内外から、当然、観光客、多くの方々がお見えになって、活気のある島づくり、地域づくりをぜひお願いしたいと思っております。

コンサルによる観光資源の見直しということで、質問させていただきました。先月、対馬歴史検証委員会主催で118周年の日露対馬沖海戦の追悼慰霊祭が行われました。このことについても、歴史が風化しないように継続的に開催をされていることを検証会の方々に敬意を表したいと思っております。

一方、162年前ですか。1861年ロシア軍艦ポサドニック号が浅茅湾に約半年間留まって、家畜の略奪、それから井戸屈削など、長期滞在の様相から、当時の幕府はイギリスの仲介で何とか退去することになりました。退去の際に、大船越の瀬戸を無理に通過しようとしたため、当時の地区の方々とロシア兵のトラブルによって、地区の方が亡くなられたということ。それからもう一方は捕虜になったということで、お二方が悲しいことに亡くなられておりました。対馬につきまして、朝鮮出兵、それから元寇、それから日露戦争など、防人の島として外交の歴史をたどって今日に至っております。このような大きな事案から小さな事案、当然この歴史というのは次の世代に引き継ぐことが重要なことと感じております。この辺りも踏まえて、少し歴史についてもちょっと整理が必要ではないかと思っておりますので、この辺りは例えば先ほどの対馬沖海戦の関係とか、それから大船越の瀬戸の関係とか、少し歴史を整理が必要ではないかと思っておりますけれども、この辺りは観光のほうで何か資料とか作成はされてありますでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、村井英哉君。

○観光交流商工部長（村井 英哉君） お答えいたします。

今、議員おっしゃいます特に歴史とかに特化したお話をくださいました。市長のほうからも答弁がありましたように、観光振興推進計画に基づきまして、今の尖った観光素材という言い方をさせていただいていますけど、観光スポットであれば金田城であったりとかいろんな著名なものがある、それを改めて違う視点から有効活用していこうというようなそういう動き、それから食の部分では、特に赤島の天日の塩、それから釜炊きの塩といったものを比べて食べてみて、顕微鏡で見て、そしてどこで食せるところがあるのかというふうな、新たなそういうつながりをもった計画をつくっていこうというようなことをしておりますけれども、今、おっしゃいます観光について、今のところ、今、おっしゃいますロシアとのそういうことでありますとか、浅茅湾のこととか、友好について細かく、今、計画の中で進めておりませんが、いただきました提案を今後は新しい形で、新しい目線でそういう歴史の旅というふうなことをいろいろ含めて、そこに食を合わせていくとかいうようなことで考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） そうですね。そういった中で、職員の方々がそこまで整理整頓をしていくのも大変だろうと思います。このことは掘り起こしも含めて、観光コンサルの専門職の方を少し導入して、そして進めていけばどうだろうかと思っておりますけど、市長はそのあたりを少し、今後の市内の観光の掘り起こしも含めた新たな視点で、外部の方の導入、観光に特化した導入のお考えはないでしょうか、お尋ねいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） これまでも外部からのコンサルあたりに委託をしていくということで、導入等はかなり進めてはまいったというふうに認識をしております。今後につきましても、そういったまた必要等があれば、コンサル等の助言を受けながら、またいろんな市民からの助言等も受けながら、そういった創作活動等に邁進してまいりたいという思いを持っております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） ありがとうございます。

小島議員さんからも少し話がありましたけれども、本市は第1次産業、農林水産業、それから基幹産業、そして観光業ということで、今、少しずつでございますけれども、今の活気に満ち溢れた島かなと思っております。このような観光業を含めた基盤とする政策に力点を置いた状況下で、今後、進めていただきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

観光については、以上で終わります。

それから教育委員会関係で、資料の2、早速対応していただいたということで。早めに連絡もなかったちゅうのも悲しい話ですね。本当に悲しい話です。早急にこれはしていただいたほうが。例えば、夜間とか照明が切れて、夜間とか散策されてけがでもされたらとてもじゃないけど、これは全責任が市のほうにございますので、できることは早めにしていただきたいなと思っております。よろしく願いします。早めに、本当に。

それから通学路、資料3ですね。

通学路につきましては、県との協議、それから建設課との協議等でありますけれども、一昨日でしたか、午後3時頃、小学校の児童が9名ほど下校をされてありました。ちょうど、今、矢印をしておるこの辺り差しかかったところです。児童ですから、何もこの辺も気が回らずに、そのままだったと思いますけれども、私はいつも通っておりますので、このような実態ということは、ぜひ教育委員会さんも当然、確認はされてあろうかと思っておりますけれども、小学校の教員のほうから何かございました。先ほど通学路安全対策推進協議会ですか、ここはまだされていないということなんですが、こういったことでございますので、小学校から何か指摘があったのか、それから教育委員会さんとしては、今後どのように早急に進められるか、そのあたりに何かございませ

たらお願いします。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 伊原議員さんには、昨年も6月の議会で同様の御指摘をいただいたのにもかかわらず、目に見えるような大きな変化がまだ起きていないことに対しては、私自身も本当に申し訳なく思っております。ただこの間、何もしていないわけではなくて、担当者同士の話し合いをして、一刻も早く対応できないかということは検討を進めておりますので、これについては御理解ください。

小学校のほうに現在、確認したところ、小茂田方面から通学している児童がちょうど10名、今年度はいるそうです。この児童または保護者等から何か通学路の改善等についての要望があっ
ていないかどうか確認をしました。今年度については今のところないというお答えでした。ただ校長先生からは、もしそういう声があったら自分も確認に行く。そしてすぐに教育委員会にも連絡をするというお言葉をいただいております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 資料の3の樹木の先端部、この上に九電の配線がちょうどあるんですね。先週でしたか、この九電の作業として、今、樹木の先端部の伐採があっていました。こういったことは九電さんも例年ですから、台風シーズン前に処理をしたかったんじゃないかと思っておりますけれども、定期的なこういった予算を、予算化についても、当然、教育委員会さんも予算計上の段階で進められたほうがよろしいかと思っておりますけれども、定期的な予算措置について、今後の方針、もしございましたら。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 教育委員会の役割としては、こうやって危険箇所をもし認識しましたら、それを関係部署につないで一刻も早い改善を求める立場にあると思っておりますので、市長部局または県の当局と連携をしてみたいと思っております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） ありがとうございます。

それでは、最後の質問です。4点目ですね。

県道44号の通学路、ここは先ほどお話されました2回目でございますけれども、予算の関係とか、それから用地確保の観点から、非常に道路拡張は難しいということでございますので、今回、新たにこの、今、消えがかった白線、これ約30センチ、ここを通学路の児童が登下校をしております。それで大型観光バスですね。それから大型の保冷車、この保冷車がほぼ中央を通

っています。それで、たまたま児童の登下校には遭遇はしてなかったと思いますが、この狭いところで危険箇所を通過しておりますので、できましたら一刻も早く路面の表示とそれからポール、これで少しでもできるんじゃないかと思っておりますので、県のほうとの先ほどの通学路安全対策の委員会とは別に、県のほうとの教育委員会としての、県との協議はされましたか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 教育委員会の担当者が、振興局のほうに出向いて現状がどうなっているかということの確認はさせていただきました。話の中で道路の拡幅、この道路というのは私もよく分からないんですが、5.5メートル幅がないと中央線が引けないということらしいんですが、拡幅ができないときにこのちょうどカーブの部分にポストコーンとか、または二連ドットの設置等ができないかということも検討されているようですが、ちょうどカーブで狭くなる場所だけに、そこにもし何かコーン等を置くと、余計に道幅が狭くなってかえって危険度が増すということも懸念されることから、総合的にどういうふうな安全対策を取ったらいいかということ、今、検討しているところでございます。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 分かりました。

すぐできることはそのポールもそうでしょうけど、路面の表示ですね。通学路、それから徐行だとか、そのあたりの表示を早急にしていただければなと思って、何もないからこのままやっぱり大型車が通過するんですね。非常に危険箇所でございますので、その路面表示はもうすぐできるんじゃないかと思えます。

逆方向の床谷アパートの狭い通学路があったんですけど、これはもうすぐしていただきました。これは指摘というか、電話で当時の建設部長さんを現地にお呼びして、即、路面表示をしていただきました。そういったこともございますので、そういうことは誰でもするという事なんですよ。やはり安全な通学路の確保、これは対馬市もそうでしょうけど、教育委員会としても責務です。とにもかくにも早急な対応をお願いしたいと思っております。

市長もお疲れモードに入っておりますので、私の質問を終わります。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） これで、伊原徹君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

明日も定刻から市政一般質問を行います。

引き続き、本会議終了後14時30分から、請願審査特別委員会を開催します。